

釜山女子大学校大学祭で交流しました！ 釜山女子大学校との文化交流プログラム

2017年10月26日に健康栄養学科4年生(当時)の伊藤彩さん、小山葵さん、志水未果さん、冨田海帆さんの4名が、釜山女子大学校の大学祭で「私たちの東京♡大学♡おせち料理」というタイトルで日本文化紹介をしました。

楽しんでもらえるように工夫したプレゼンテーションは、韓国語での自己紹介やクイズ、花形にんじんの実演で大いに盛り上がり、お互いに「楽しかった!」「ありがとう!」という言葉を交わしながら終了しました。



大盛り上がりのクイズコーナー

本学の参加学生が、日本との違いとして、まず感じたのが、こちらの問いかけに積極的に

反応してくれること。後悔したのは、出発前に韓国語や韓国文化をもっと勉強しておけば良かったということだそうです。実際に釜山女子大学校の学生と会って、もっと密な交流がしたかったと、外国語の習得を心に誓った人もいました。

「おもてなしの形は国によって違う」「今までの自分の考えがいかに浅く、狭いものであるか痛感した」「釜山女子大学校学生の意欲的な態度をみて、自分も頑張ろうと思った」という感想もあり、大いに刺激を受けた様です。

両学の学生にとって、楽しく、また意義深い交流となりました。



花形にんじんに興味津々

本学が目指す国際交流

- 1 他者を国籍、民族、性別、年齢などの枠で判断するのではなく、同じ人間として心を開き、相手の人権を尊重することができる。
- 2 自国文化も他国文化も数ある文化の中のひとつとして客観的に捉えることができる。
- 3 国際情勢に関わる情報の本質を理解することができる。
- 4 本学で展開してきた知識体系の蓄積を発信することで国際社会に貢献できる。
- 5 よりよい社会および世界を構築するために、自分ができることを見だし、実行していくことができる。

◇前期のイベント予定

4月4日(水)11:00～15:00
国際交流センター“バザー100円市”開催
会場：町田キャンパス就職支援室(1201)
※千代田三番町キャンパスは後期開催

4月25日(水)各種募集締め切り(4面参照)
海外協定校留学説明会
(町田キャンパス)(4面参照)

4月27日(金)海外協定校留学説明会
(千代田三番町キャンパス)(4面参照)

4月～5月
町田キャンパス国際交流パーティ
※千代田三番町キャンパスは後期開催

7月 短期交換留学生修了セレモニー

◇国際交流センター員の紹介

以下は、本学の国際交流活動を担当している教員です。所属に関係なく国際交流等に関する質問や相談を受けます。お気軽にどうぞ。

国際交流センター長：中田範子(児童学科)

副センター長：井澤尚子(現代家政学科)

センター員：

マーク・ルイス(現代家政学科)

松田正己(人間栄養学科・大学院)

外国語習得・海外留学アドバイザー

藤田恵子(生活デザイン学科)

森 朋子(生活デザイン学科)

外国語習得・海外留学アドバイザー

櫻井美代子(食物学科)

◇海外協定校から新たに留学生到着

2018年4月に本学の海外協定校である吉林華橋外国語学院(中国・長春市)から2名の3年次編入生が、釜山女子大学校(韓国・釜山広域市)から2名の短期交換留学生が生活デザイン学科に入ります。

◇難民支援のための寄付(御礼)

10月20日(金)千代田三番町キャンパス、11月11日(土)町田キャンパスでの難民映画上映会(2面参照)の際に募金箱を設置したところ、両キャンパスで合計20,429円の寄付金が集まりました。

寄付金は、皆様にかわって国連難民高等弁護官事務所の難民支援事業に届けました。

あたたかいご支援に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

2017年度後期の活動あれこれ

留学生のための芸術文化鑑賞会

江戸東京たてももの園と精進料理を楽しむ

10月8日(日)に、学生10名と引率教員2名が「江戸東京たてももの園見学と精進料理を楽しむ」を実施しました。小金井市にある三光院では精進料理を楽しみ、母国の料理と対照しながら不思議な表情で食していました。その後、江戸東京たてももの園に移動し、日本の江戸時代から近代の建物を自由に見学しました。母国の祖父母が住んでいる家を思い出して興味深く観察している学生もいました。三光院では料理、江戸東京たてももの園では建築という各側面から日本の歴史にふれることができました。



江戸東京たてももの園にて

難民映画上映会

国際交流センター初めての試みとして、10月20日(金)に千代田三番町キャンパスで、11月11日(土)に町田キャンパスで難民映画の上映会を開催しました。

上映作品「Cast from the Storm」は、オーストラリアの高校にある難民のための英語クラスを舞台としています。映画は、それぞれが難民となるまでの自分の体験を語る場所から、一人一人の物語をつなぎ合わせた劇を上演するまでを追っていきます。

「死を覚悟して家族で難民ボートに乗った」「通っていた学校に爆弾が落ちて同級生の多くが亡くなった」「紛争地に一人残して来た母を案じている」。一見、明るく元気な普通の高校生の口から語られる体験と、本気で向き合うスタッフの姿に109名が見入りました。

上映後には、「初めて知ったことばかりでショックだった」「『話す』ことの力と生徒達の力強さに感動した」「世界の平和と難民の人権尊重を願う」「自分にできることを何かしたい」等の感想が寄せられました。難民も私たち同様「普通の人」であるという認識を持ち続けたいものです。



上映前に解説を聞く(千代田三番町キャンパス)

外国語絵本展



町田キャンパスの様子

町田、千代田三番町キャンパスの図書館において、例年通り外国語絵本展が開催されました。町田キャンパスは9月25日(月)から11月12日(日)KVA祭最終日まで、千代田三番町キャンパスは11月16日(木)から12月22日(金)まで外国語の絵本が展示されました。展示絵本の言語は、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語です。日本語での内容説明が添えてありましたので、多くの皆さんが手にとって下さいました。

第11回外国語スピーチコンテスト

12月9日(土)14:30~17:45 千代田三番町キャンパスにおいて、「第11回外国語スピーチコンテスト&クリスマスパーティー」が開催されました。スピーチコンテストは、「外国語暗唱部門」と留学生による「日本語弁論部門」の二部門で構成され、両部門への参加者1名を含む計7名の学生が出場し、日ごろの成果を発表しました。外国語暗唱部門では国際的に活躍する女性を題材にした「国連難民高等弁務官」、「英国首相」が課題であり、出場者は流暢な英語による暗唱を披露しました。日本語弁論部門は「日本で暮らして考えたこと」、「日本で出会った大切な人」と題した弁論の後、日本語での質疑応答も活発に行なわれました。会場には学生、教職員、地域サポーター、保護者ら34名が聴講に訪れました。

16時からスピーチコンテスト授賞式、その後国際交流会主催のクリスマスパーティーが開かれ、美味しいごちそうと楽しい会話、学生出題のクイズ等で大いに盛り上がりました。

《スピーチコンテスト受賞者》※学年は当時

【外国語暗唱部門】

- ◇優勝：黒澤美由紀(健康栄養学科2年)
英語「国連難民高等弁務官」
- ◇準優勝：湯 承晨(人間福祉学科3年)
英語「英国首相」

【日本語弁論部門】

- ◇優勝：陳 卓(大学院1年)
「日本で暮らして考えたこと」
- ◇準優勝：湯 承晨(人間福祉学科3年)
「日本で暮らして考えたこと」
- ◇敢闘賞：王 佳佳(大学院1年)
「日本で出会った大切な人」
李 向茹(大学院1年)
「日本で暮らして考えたこと」
郭 天翼(生活デザイン学科2年)
「日本で暮らして考えたこと」
陳 麗竹(生活デザイン学科2年)
「日本で暮らして考えたこと」

【保護者会賞】

- ◇会長賞：陳 卓
- ◇副会長賞：湯 承晨・王 佳佳

町田キャンパス中国人留学生5名が地域交流

◇ニチイケアセンター八王子館町で中国料理交流会
2月7日(水)にニチイケアセンター八王子館町で交流会をしました。

交流会では、まず5グループに分かれてギョウザとトマトと卵の炒め物を入居者の方と調理。初めはお互い少しぎこちなかったものの、ギョウザの具を包む頃にはすっかり打ち解けて、お食事会では「おいしい」という声と笑い声が会場にあふれました。

食後のお楽しみ会では、学生の子ナ服に「わあ!」「きれい!」と歓声があがり、最後は「幸せなら手をたたこう」の大合唱で終わりました。



中国語で歌を披露

◇八王子市立横山第一小学校6年生と交流授業

2月9日(金)に横山第一小学校の6年生3クラスと交流授業をしました。

最初に本学学生がパワーポイントを使って「日本の好きなもの」「日本のあまり好きではないもの」を紹介すると、意外な「もの」や「こと」に児童達からは驚きの声があがりました。

その後は、5グループに分かれて、児童達が思い思いのテーマで準備してくれた日本文化の紹介を聴きました。着物、食べ物、神社、将棋などテーマは多岐にわたり、学生達はレベルの高さにびっくり。給食を自分達で準備するのも見て、「日本の小学生は自立性が高いですね」と感心していました。

(詳細は本学HPにて)



児童達の日本文化紹介を聴く

短期交換留学生修了セレモニー

2月9日(金)に大学院短期交換留学生修了セレモニーが町田キャンパスにて行われました。この度修了を迎えたのは、吉林華橋外国語学院大学院からの短期留学生、王佳佳さん、陳卓さん、李向茹さんです。地域の方々にも多数お越し頂き、学生、教職員も一緒に3人の門出を祝いました。

修了生からは日本での生活を支えてくれた人々への感謝の気持ちとこれからの展望についてスピーチがありました。アパートの大家さんや中国語教室の生徒の方々からの言葉や贈り物に、周りの方々とのよい関係性が感じられ、後輩たちからのお別れの言葉には参加者一同、胸が熱くなりました。



ひとりひとりのメッセージを聞く
修了生達

修了生のこれからの活躍をお祈りします。

私の異文化・海外体験 第4回

大江スミ先生と英国留学

松田正己(人間栄養学科)

2月半ば、京都大学地理情報研究会の集まりに出席するため、久しぶりに京都を訪れました。研究会では興味深い議論がなされ、多に啓発されましたが、そこで思いがけない出会いがありました。本学の創設者大江スミ先生の伝記の著者である大濱徹也先生のお弟子さんというかたにお会いしたのです。大江先生の伝記には、先生の英国での留学体験が詳細に書かれており、公衆衛生学に関することも含まれていたため、私はかねてから著者の大濱先生に是非お話を伺いたいと思っていました。

大江(当時は宮川姓)先生の英国留学は、明治35年(1902年)12月から明治39年(1906年)8月までで、目的は家政学の習得にありました。当時、英国で日本人が学問をすることの困難さは、英語教育法研究の名目で留学を命じられた夏目漱石の例からも明らかです。漱石が1900年から2年間ロンドンに滞在する間、神経を消耗したという話は有名です。大江先生が、様々な困難に遭いながら勉学に励まれたことは、想像に難しくありません。(大濱徹也、大江スミ先生、東京家政学院光塩会、p88-89、1978年)

伝記によると、大江先生はバケイシーポリテクで家政学を学ばれた後、ロンドン大学のベドフォード・コレッジの衛生科で社会衛生学を学び、衛生検査員の資格も取得されたことになっています。英国はビクトリア朝時代(1837~1901年)に世界ではじめて公衆衛生法を作ったことで知られていますが、衛生検査とは、当時世界の最先端といわれた環境衛生学のことかと思われます。つまり大江先生は、家政学のみならず、(公衆)衛生学のこと幅広く学ばれていたようで、公衆衛生を専門とする私は強い親近感を覚えました。

大江先生がはじめに学ばれた学校バケイシーポリテクは、正確にはバタシー・ポリテク(Battersea Polytechnic, the School of Domestic Economy for Girls and a Training School in Domestic Economy for Teachers)といい、1891年設立、今は、サリー大学(1960年代)へと発展しています。サリー大学はロンドン郊外のギルドフォードというところにあり、ルイス・キャロルが「不思議の国のアリス」を書いた場所として有名です。私もサリー大学には学会などで何度か行ったことがあり、不思議な縁を感じます。実際、キャンパスには、大江先生が学ばれた学校の名前が書かれていました(写真)。余談ながら、バタシーというのは、1843年から首都改善計画でテムズ川南岸に作られた王立公園で、漱石の下宿先にも近く、漱石が散歩で立ち寄ったとされています。(蛭川他、ロンドン辞典、大修館書店、2002)



サリー大学キャンパスの道標



Batterseaの文字が見える

いろいろ募集中（本学学生対象）

春は出会いの季節です。新しい出会いを地球サイズで！

アメリカの大学生とメール交換

アメリカ合衆国フロリダ州にある Florida International University で日本語を学ぶ学生とメール交換しませんか。使う言語は「日本語」でも「英語」でも「両方」でも大丈夫。アメリカに友達をつくるチャンスです。

申し込み先：学務グループ(申込用紙あり)

申し込み期限：4月25日(水)

留学生と日本人学生との出会い

「日本語会話パートナー」という制度で、留学生と日本人学生が出会う機会を提供しています。どのように交流するかは自由。これまでは週に1度一緒に「おしゃべりする」「ご飯を食べる」というところから始めたペアが多かったようです。テレビやネットでは分からない新しい文化に出会うチャンスをお見逃しなく！

申し込み先：学務グループ(申込用紙あり)

申し込み期限：4月25日(水)

英会話を楽しむ

「英語サロン」で、マーク・ルイス先生と英会話を楽しみませんか。自分のペースで参加可能です。レベルも問いません。リラックスした楽しいサロンです。お気軽にお越し下さい。

◇開催日時・場所

【町田キャンパス】

水曜日 12:20～12:50 図書館にて
5月2、9、16、23、30日／6月6、13、20、27日

【千代田三番町キャンパス】

金曜日 12:20～12:50 1404(学習支援室)にて
5月11、18、25日／6月1、8、15、22、29日／
7月6日

申し込み不要。直接会場へどうぞ。

海外協定校に留学する

本学学生である皆さんは、協定校である吉林華橋外国語学院(中国・長春市)、釜山女子大学校(韓国・釜山広域市)、韓南大学校(韓国・大田広域市)、コンケン大学(タイ・コンケン市)に短期留学などができます。前期は留学説明会を以下の通り開催しますので、興味のある方は是非ご参加下さい。

【町田キャンパス】

4月25日(水) 12:20～12:50
1204教室にて

【千代田三番町キャンパス】

4月27日(金) 12:20～12:50
1707教室にて

申し込み不要。直接会場へどうぞ。いずれのキャンパスでもお昼ご飯持参OKです。

学生同士で中国語・韓国語・日本語を学ぶ

中国語や日本語を学びたい学生が、それらを母語とする学生と1対1で勉強する「言語チューター」という制度です。「教える人」「習う人」の両方を募集します。ただし、2018年度前期は町田キャンパスのみの実施となります。

◇中国語

<習う人> 本学学生であればどなたでも
<教える人> 中国語母語話者の本学学生

◇韓国語

<習う人> 本学学生であればどなたでも
<教える人> 韓国語母語話者の本学学生

◇日本語

<習う人> 本学学部1・2年生の留学生
<教える人> 日本語母語話者の本学学生

申し込み先：学務グループ(申込用紙あり)

申し込み期限：4月25日(水)

国際交流会で活動する&iecpalになる

◇国際交流会とは

会員同士の交流を図るとともに、国際交流のイベント等を企画・運営する学生の会です。楽しみながら国際交流をしませんか。

申し込み先：学務グループ(申し込み用紙あり)

申し込み期間：随時受付

◇iecpal(アイイーシーパル)とは

登録しておけば、国際交流のイベント、ニュースなどがメールで送られてくるシステムです。

申し込み先：iec@kasei-gakuin.ac.jp

申し込み方法：件名を「iecpal」とし、本文に氏名と学籍番号を記して下さい。メールは大学 gmail に送ります。